

北九州憲法ネットニュース

発行 9条の会・北九州憲法ネット 2017年9月28日 第97号
 TEL592-5000 fax 571-4346
 803-0817 北九州市小倉北区田町13番21号田町ビル3F
 URL⇒<http://kitaq-kenpou.net/>

第9条

戦争の放棄、戦力の不保持、交戦権の否認

日本国民は正義と秩序を基調とする国際平和を誠実に希求し、国権の発動たる戦争と、武力による威嚇又は武力の行使は、国際紛争を解決する手段としては、永久にこれを放棄する。

② 前項の目的を達するため、陸海空軍その他の戦力は、これを保持しない。国の交戦権は、これを認めない。

総選挙と9条改憲 ～安倍9条改憲ストップのために～

9条の会・北九州憲法ネット
副代表世話人 三輪 俊和

1 安倍9条改憲ストップのために

全国9条の会は、「安倍9条改憲NO！全国市民アクション」に組織として参加し、他団体と協力して活動する決断をし、安倍改憲を阻むため、全国市民アクションの一員として全力をあげる決意を表明しました。私たち「9条の会・北九州憲法ネット」も、「安倍9条改憲NO！北九州市民アクション」に関わるあらゆる活動に、組織として参加し、全力を挙げて取り組むことを決意しました。

2 憲法違反の冒頭解散・総選挙

今、9月28日召集臨時国会冒頭解散、10月22日投開票の総選挙の真最中です。安倍9条改憲の「戦争への道」か、9条が輝く「平和の道」か、歴史の岐路を決める闘いです。

安倍首相は、日本国憲法施行70周年の5月3日、あえて挑戦するように新たな改憲の提言を行いました。森友、加計学園にみられる行政の

3 前原党首の発言

前原民主党党首は、同党衆院議員のパーティー(9月20日)で、次のように述べました。「もう、四の五の言いません。選挙になるようです。政策の議論を戦わせなくてはいいかと思いますが、今回の選挙はただ一点。安倍(晋三)さんの好きにこれ以上させていいのか、だと思います。憲法に基づいて国会を開けと求め続けたが、開かな

4 4野党共闘と選挙シミュレーション:

野党4党は、一致した行動を取っていくことを確認、総選挙で候補者の一本化と選挙協力に合意しています。



私物化、自衛隊日報隠し、共謀罪法案の強行採決などとどまることを知りません。野党4党が憲法53条に基づき求めた臨時国会の召集を3カ月放置したまま、いきなり冒頭解散するのは、究極の党利党略、権力の私物化であり、憲法違反の暴挙と言わざるを得ません。

いで、開くと決めたら冒頭解散。こんなひどい話は聞いたことがない。やっぱり森友・加計(かけ)問題を追及されるのが嫌なんじゃないか。こういう人を日本のトップとして居続けさせていいのか、という選挙にしたい。私は政策も国家像も大事だけれども、根底にあるのは怒りです。」

ここに、東京 25 衆議院選挙区における予測議席シミュレーションを紹介します。(Yahoo ニュース 選挙ドットコム 9/21 配信)

若狭勝衆議院議員らが結成を目指す国政新党は、東京25選挙区すべて候補者を擁立する前提。自民、公明、民進、共産、自由、社民、おおさか維新の得票数は16年参院選の比例得票数

を使用し、都民ファーストについては17年都議選の公認候補者50人及び純粋推薦候補者の11人の得票数を合算して、選挙区ごとに算出。

共産党を除いた3党共闘の場合→ 自民 13議席、都ファースト12議席、野党共闘 0議席

4党共闘の場合→ 自民 2議席、都ファースト5議席、野党共闘 18議席

東京選挙区に限らず、市民と野党の共闘が全国的にすすめば、野党4党の統一候補が勝利し、

安倍政権を倒すことは可能です。

5 歴史的チャンス

「戦争する国づくり」に暴走する安倍自公政権は、真に国民の支持を得ているわけではありません。これを倒すには共闘しかありません。戦争法廃止、立憲主義をもとめる市民と野党の共闘をさら

に発展させましょう。今回の総選挙を、安倍政権を退場に追い込む歴史的チャンスの選挙として、北九州憲法ネットも全力で闘うことを誓います。

11・3集会が決定。安倍9条改憲NO！北九州市民集会 3000万署名も推進

平和をあきらめない北九州ネットは、幹事会を開催し、①11月3日午後、勝山公園で、「安倍9条改憲 NO！11・3北九州市民大集会」を開催。②全国で進められている安倍9条改憲 NO！全国市民アクションが提唱する、9条改憲反対の3000万署名の推進を決めました。この成功のため、多くの団体・個人の賛同を呼びかけています。

「憲法改悪反対北九州共同センター」は、この運動の取組に全力を挙げることを決めています。私たち「9条の会・北九州憲法ネット」も賛同することを事務局会議で確認しています。各地の9条の会にも呼びかけ、賛同の輪を広げていきます。読者の皆さんも、大いに、この賛同に参加してください。3,000万署名も同封します。周囲の方に署名を訴えてください。

90人が参加で盛り上がる 憲法ネット第14回総会 石川捷治氏が講演

9条の会・北九州憲法ネット第14回総会が、9月2日、小倉北区の市立生涯学習総合センターで開かれました。安倍政権の改憲策動が続く情勢の中で、参加者も90名になり、盛り上がりました。

開会挨拶を荒牧啓一代表世話人座長が、総会の議案提案を副座長の三輪俊和氏が行いました。司会は、弁護士・後藤景子さん。総会議事では、三輪氏は「改憲させてはならない。広範な市民に働きかけよう」と提起しました。

講演に移る前に、今回は、小川和子さんを招いて、八重山民謡と三線演奏を聴きました。

「これは良かった」と好評でした。

記念講演は、九州大学で30年の教育実践のある、政治史研究家の石川捷治氏が「安倍一強“体制と朝鮮半島危機”」と題して話しました。石川氏は、まず、朝鮮半島の情勢から話します。日本の上空を北朝鮮のロケットが通過する。これを機に、知らない間に、防空演習が日本で始まった。北九州の防空演習は、戦前では、日本で一番早かったが、それも、あの激しい空襲では、何の役にも立たなかった。北朝鮮と外交関係のある国の数は、160カ国。日本でも190各国であり、北朝鮮が世界で孤立してい



るわけではない。アセアンが力を持っているので、このアセアンを中心に、北朝鮮と、アメリカとの協議を行わせることが、解決への道だ。

安倍政権の改憲策動は、9条に第三項を書き込むことで、平和憲法の中心、9条を壊すやり方をとってくる。しかし、憲法9条は、国際社会の中で大きな力を持ってきている。安倍政権の改憲には、大きな反対の声が上がる。

このピンチをチャンスにするためには、2年余りの野党と市民の共闘の経験・実勢を生かすことが重要。ファッショ勢力は一時的落ち目の時が要注意（ドイツ1932年11月）

今後の課題は、安倍政権に代わる、“もう一つの選択肢”を国民に広く知らせる取り組みがいること。「北九州市民らしい、新しい闘い方を作り出そう」と呼びかけました。

大手町9条の会が例会を開催

8月4日午後、久しぶりに大手町9条の会例会を開くことができました。

「最後まで自分らしく暮らす…憲法が保障する高齢期」という題目でお馴染みの来田時子さんのお話と、青い空9条の会との交流会という内容でした。来田さんは、「憲法は、国のおおもとを決めたもので、その内容は私たちの暮らしに大きく影響を与えます。先の戦争を境に天皇主権の明治憲法から国民主権の現憲法になって、国民の暮らしを保障する制度が次々に作られました。国民が個人の幸福を追求する権利(13条)や健康で文化的な生活をおくる権利(25条)を国によって保障されるという憲法があるから、年金や医療などさまざまな社会福祉の制度が作られました。人生50年から80年時代となり、超高齢社会に対応した生活保障の制度が不十分なままになっています。自分らしい人生を全うするた

めにも憲法を暮らしに生かす活動がこれからも重要だ。」と話されました。休憩後は、青い空合唱団の司会ですすめられ、合唱団の日ごろの研鑽をお聞きしたり、皆で合唱したり、で楽しいひと時を過ごしました。参加者は24人でした。こうした会がたびたび開けるといいのですが、地域に400枚くらいのチラシを入れたりしますが、他のマンションから来て下さる方が少ないあるいは零というのが今後の課題です。(大手町9条の会 野田恵美)



平和パネル展が開かれました

第14回平和パネル展が7月30日町上津役診療所で行われました。始めに、赤木さんのアコーディオン演奏で心がなごみました。講演は八幡原水協の島崎さんの「ヒバクシャ国際署名行動と核兵器禁止条約の実現を」でした。『核兵器禁止条約』が122カ国

の賛成で採択され、これからは核を持っていても無用の長物となるよう追い詰める必要がある。歴史的一步を踏み出した年だ。日本政府をこの条約に参加させるまで頑張ります。核兵器廃絶運動の先頭に立って行動しますと話されました。



「もうすぐ102歳です」とあいさつする足田さん
2017年7月31日毎日新聞から

「私の戦争体験」で102歳の足田年盛さんが戦時中招集され、シンガポールなどでの戦争体験を話されました。大変な体験をされたのですが、今は元気で過ごしています。その後、戦時中食(だんご汁)を皆で食べ、バザーや長崎・広島原爆パネルを見て、平和を考える一日でした。朝早くから準備やお手伝い有難うございました。100人近い方が参加されました。(新婦人八幡西ニュース2017年8月1日から)

「九条の会」メルマガ詳細版

2017年09月10日 第263号

編集後記～安倍9条改憲NO！全国市民アクションの運動が始まりました
安倍晋三首相らが企てる9条改憲を阻むために、お互いが正念場と思います。
全国の津々浦々から行動を起こしましょう。(T)

カンパありがとうございます。そして、お願い！

当会は、一貫して、憲法及び9条を学び、守り発展させるため、学習会や講演会、署名活動、街頭宣伝などの諸活動を行ってきました。ニュースの発行は、90号になりました。毎回700人の方にニュースをお送りしたり、手渡ししたりしています。その費用は、当会は会費がないのですべてカンパで賄っています。安倍政権の憲法破壊、立憲主義無視の暴走を阻止する戦いは山場です。しかし、当会の活動資金が枯渇しています。皆さんのお力で当会の活動を支えてください。

振替番号：01700-8-115768 名 義：「九条の会・北九州憲法ネット」

カンパ 8月 有馬和子 内田ツナオ 宮本清美 野田恵美 稲月道子 大岡真 野瀬秀洋 安達恵美子 川原巖誠 小沢和秋 森田禮三 渡辺和子 田口政子 小倉総合法律事務所荒牧啓一 玉井史太郎 高野和夫 近藤伊都子 竹中労 原田智昭 稲月正 高崎弘子 豊福直美 南嘉久 山本知恵子 山口司郎 成富茂 古賀三千人 **9月** 三輪俊和 三輪幸子 戸上省二 中川紘子 **メッセージ** ●第14回総会の講演を楽しみにしています。もっともっと9条の話を巻でなくては、今回のニュースは楽しみです。8/13 E. N ●わずかですみません。会費のつもりです。よろしく。8/16 K. O ●カンパ 8/16 E. A ●募金です。8/16 M. O ●カンパ 8/17 R. M ●ネットニュースありがとうございます。僅かですが資金の足しにして下さい。8/17 M. T ●憲法改悪を断固阻止しよう!安倍自公政権に鉄槌を下そう! 8/17 F. T

